

OTバンドはじめました♪

先日行われたひなまつり会にて、OTの出し物としてOTバンドを結成しました。OTスタッフのほとんどが楽器未経験者ばかりで、楽譜も読めず苦労しました。今回はボーカル、ピアノ、キーボード、ドラム、鈴、タンバリン、リコーダーに分かれて、レミオロメンの「粉雪」小田和正の「言葉にできない」2曲を演奏し、多くの患者様はOTスタッフが楽器の演奏をすることが出来ることに驚かれ、また、一緒に口ずさんだり手拍子をしてくれたりと楽しんでいる様子も見られました。今後は新しい曲にも挑戦し、患者様に喜んでいただけるよう練習にも励んでいきたいと思ひます。(曾我)



非常食について

東日本大震災から三年が過ぎ今年三月には大分でも地震が発生し、改めて防災意識を高めなければいけません。当病院でも災害時に備え非常食を備蓄しています。主食となるごはん、かゆをはじめ飲料水、おかずとなる缶詰類、トルト食品を中心に患者様の栄養面、安全面を考慮して食品を揃えております。食品によって使用期限が様々ですが、消費期限の近づいたものに関しては日常の献立の中に取り入れ、患者様や職員に食べていただいております。(岩尾)



「医療現場におけるリスクマネジメント

～ヒューマンエラー対策～に参加しました。

講師 日本リスクマネジメント協会
理事長 祖慶 實

今回、上記講演会に参加させていただきました。医療事故の発生を未然に防いだり、最小限でとどめるのは、結局個人個人が「どこかいつもとちがう」と気づく感性であり、それはこれまでの経験や知識、知恵、技術から生まれるものです。「人間は事故を起こしてしまう」という事をいつも念頭において、感性を高めていく必要があるということ学びました。(森 智)

増税について

皆様ご存じの通り、消費税率が平成26年4月1日より5%から8%へ引き上げられました。これに伴い、当院におきましても保険適用外の一部の料金につきましては、改定させていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしく申し上げます。(田金)

編集後記

今月号より編集責任者が銀山(看護部)から、曾我(作業療法科)に変更になりました。当院の行事や病院からのお知らせなどを含め、院内の様子をお伝えしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(曾我)



★所在地

TEL (097)568-7991 FAX (097)568-7992
〒870-1133 大分市大字宮崎6番地の3

★診療科目

精神科・神経科・心療内科・内科

★受付・診療時間

初診の受付時間 診療時間(月～土)
午前 8:30～11:00 午前 8:30～12:00
午後 13:00～16:00 午後 13:00～17:00

受付時間(月～土)
※原則として 午前 8:00～11:30 午後 13:00～16:30
※日曜・祝日は休診します。
※土曜の内科の診察は行っていません。
※御来院の際は、保険証をお持ち下さい。

★病棟名称・入院病床数

ストレスケア病棟(新設)、一般治療病棟、社会復帰病棟、療養治療病棟、老人性認知症疾患治療病棟
入院病床数: 234床

★交通アクセス

- JR利用 大分駅からタクシーで約10分(約6km)
- バス利用 JR大分駅前より数戸・星和台行き大分バスで約20分・光吉入口バス停で下車・徒歩約3分
- 大分自動車道利用 光吉インターより、ホワイトロード・宮崎交差点を右折(約100m)



リバーニュース

医療法人 青樹会

リバーサイド病院広報紙

平成26年5月発行
VOL. 22



桜の花も散り、若葉のまぶしいこの季節、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより広報誌「リバーニュース」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

さて、4月の診療報酬改定は、全体で実質のマイナス改定と我々にとって非常に厳しいものとなりました。精神科領域では、精神療養病棟の精神保健福祉士の配置や24時間体制の多職種チームによる在宅医療などが評価され、「入院から地域へ」と国の方針を強く打ち出した改定となり、同時期に行われた精神保健福祉法の改正では、保護者制度の廃止、退院後環境相談員の設置など、退院支援促進の動きは今後さらに発展していくことが予想されます。当院におきましても、4月より退院支援委員会を立ち上げ、医師及び看護師・精神保健福祉士などのコメディカルスタッフ並びに地域の関係機関との連携の下、職員一丸となり、新たな退院支援の流れを作りあげていく所存です。

今後とも皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(事務長 田金)



外来アンケート実施

今年に入り、当院では「患者様・ご家族様並びに地域の方々に信頼される病院作り」を目指し、外来患者様を対象にアンケートを実施いたしました。内容としては、『当院を選ばれた理由』、『診療室・待合室の清潔さや居心地』、『次回も利用したいと思うか』など病院サービス向上のためのアンケートです。結果は大変満足している、スタッフの対応がよい

どという回答を多数いただきました。詳しい結果については当院ホームページにてお知らせしたいと思いますので、ぜひご覧ください。

ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。皆様から頂いたご意見を参考に、皆様から愛される病院づくりに徹してまいります。

(菅)

精神保健福祉法が 変わりました

平成25年6月13日に「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（通称：精神保健福祉法）の一部を見直す法案が国会で可決・成立し、平成26年4月1日より施行されることとなりました。詳細は紙面の関係上割愛させていただきますが、**精神障害者の地域生活への移行を促進するため所要の措置を講じることが今回の見直しの目的とされています。**これを受け当院におきましてもこれまで以上に患者様、ご家族様から地域生活に関するご意見・ご要望をお伺いするとともに、院内の退院に向けた支援体制の整備を進め患者様の早期退院を実現できるよう取り組んでいきたいと考えております。

(植村)

患者レク～花見～

3月26日(水)に、お花見がありました。

天候が悪かった為、5階ホールにて雨天時プログラムのゲーム大会になりました。OTからは各病棟対抗のゲームをし、笑いあり、楽しそうに参加されていました。

患者レクからは、ビンゴ大会を行いました。今後も患者様に四季にふれる体験などを通し、楽しんでいただけるレクリエーションを提供していきたいと考えています。

平成26年度患者レク行事予定

- 5月21日 運動会
- 8月 8日 供養祭・盆踊り
- 9月17日 スポーツ大会
- 10月22日 収穫祭
- 12月17日 クリスマス会
- 12月24日 餅つき
- 2月25日 ひな祭り
- 4月上旬 お花見



(松山)

退院前訪問

2003年厚生労働省は精神保健福祉施策として「入院医療中心から地域生活中心へ」という改革を進め、この改革が退院支援にかかる診療報酬や平成26年4月に施行される改正法に大きく影響を与えています。当院でも退院支援の一環として「退院前訪問看護」への取り組みを病棟の受け持ち看護師を中心に積極的に行っています。退院先となる施設の見学や生活必需品の買い物、自宅の清掃などの退院に向けた準備を行ってきました。退院後の生活についてゆっくりと時間をかけて患者様と向き合うことで生活への不安やニーズを少しでも理解することができると感じています。今後の課題として円滑な退院促進のため医療スタッフ間での連携を密にし取り組んでいきたいと思っております。

(松澤)

1病棟(ストレスケア病棟～お花見～)

3月26日、あいにく雨天となりウッドデッキでたくさんのお花を楽しむ事は出来ませんでした。午前中5Fラウンジで患者様と一緒に、けんちん汁を作りお花見特製弁当をみんなで食べました。

患者様から、けんちん汁を作る際「昔を思い出しながら作りました」「美味しかった」「楽しかった」等の声が聞かれました。

午後から、カラオケ大会を行い大変盛り上がり、楽しく過ごせた一日になったと思います。

今後も患者様に満足して頂ける活動を取り組んでいきたいです。

(川口)



ストレス対処法 その16

今回は相手のことも自分のことも考えた自己表現をしていく上で、「みかんでいいな」の4つのステップを念頭に置くという話をしました。それは次の4つのステップです。

- ①みたこと (状況や相手を客観的に観察する)
- ②かんじたこと (主観的な自分の気持ちを表現する)
- ③ていあんする (相手に提案したい言動を明確化する)
- ④いな (断られた時のほかの選択肢を考える)



①対応しようとする特定の状況や相手の言動を客観的・具体的に描写することです。ここでは相手も自分も明確にわかり、了解できる事実や現象を描写することが大切です。

②特定の状況や相手の言動に対する自分の主観的な気持ちを表現します。これは自分の主観的な感じですから、「私は・・・」と自分を主語としたメッセージを表すことが大切です。

③相手に提案したい言動、相手に望む動きを明確にして言語化します。その提案は、具体的で現実的で、相手が実行可能な言動であることが重要です。提案をする時は、1つだけではなく、できるだけ2・3の案があるようにします。

④相手の意見や返事に対する自分の選択肢を用意します。つまり、相手の言い分も聴こうとする姿勢をもって、イエスとノーの両方の返事への対応を準備しておくようにします。

この4つのステップを繰り返す練習をしていけば、適切な自己表現(アサーション)が上手にできるようになります。

(玉那覇 邦)

5病棟紹介



5病棟は60床の療養型治療病棟で、職員は看護師6名准看護師6名介護士10名で構成されています。

単調になりがちな入院生活に少しでも楽しみや気分転換、季節感を味わっていただく病棟レク活動に力を入れており、そうめん流しやぶどう狩り、仮装してのカラオケ大会など、毎回患者様も楽しみに参加していただいています。

また、受持ち制の充実を目標に担当職員がそれぞれの患者様の訴えを傾聴、困った事、悩みや不安をいっしょに解決できるよう努めています。

これからも患者様に寄り添い、一人でも多くの方が社会復帰ができるよう援助していきたいと思っております。

(佐藤)

デイケア

お菓子作り

以前はスイーツを食べる女性をうらやましうに見ていた男性メンバー。今回から、男性も一緒にお菓子作りを行うことになりました。初回は、ガトーショコラ。「泡立て器ってどうやって使うの?」「湯煎にかけると?」疑問だらけの男性メンバーを女性メンバーが優しくフォローしていました。仕上がりは大成功!“作る”と“食べる”楽しさを味わえた1日でした。



梨農園活動

今年から梨農園活動では、メンバーが憩うことのできる小屋作りを行っています。ボランティア講師の指導のもと慣れない作業道具を使いながらの挑戦。「自然の中での作業が気持ちいい」と参加メンバーも徐々に増えてきました。一生懸命働いた後の梨ジャム入りカレーは格別です!

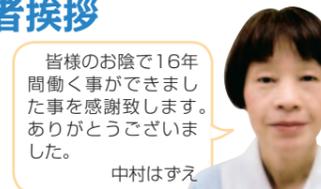
(宇都宮)

定年退職者挨拶



お陰様で無事定年を迎える事が出来感謝致しております。色々ご迷惑おかけしましたが皆様と楽しく仕事させていただきました。ありがとうございました。

一宮 順子



皆様のお陰で16年間働く事ができました。感謝致します。ありがとうございました。

中村はすえ